

TR-350 をご購入のお客様へ

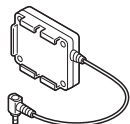
この度は、ドライビングレコーダー TR-350をご購入いただき誠にありがとうございます。
本製品はCSD-350HDをベースにした特別仕様となります。付属の取扱説明書は以下の内容
に差し替えてお読みください。また製品名の表記がCSD-350HDとなりますが、ご了承ください。

【変更箇所】取扱説明書 P8 付属品の変更

- ・ 付属のDCコードは、直結配線用コードタイプとなります。
- ・ GPSユニットが付属されます。



□ DCコード



□ GPSユニット

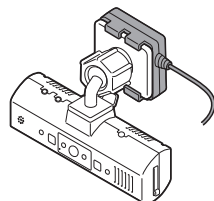
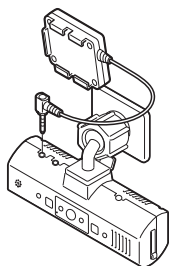
サイズ : 48(W)×11(D)×39.4(H)mm

※突起部含まず

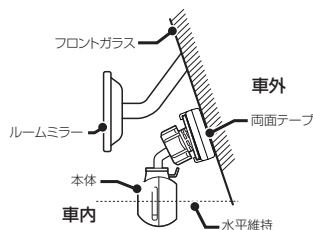
コード長 : 85mm

本機の取り付け方法の補足

- 1 GPSユニットのプラグを本体のGPS
接続端子に差し込みます。
- 2 GPSユニットをマウントベースに取り付
けます。

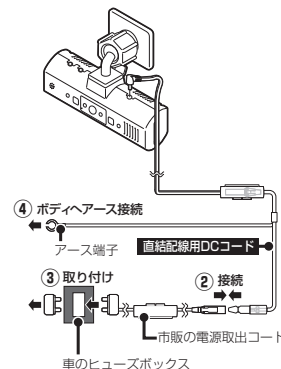


- 3 GPSユニットに両面テープを貼り付けしっかり設置します。



- 4 本体のDCソケットにDCコードを接続し、車から直接電源を取ります。

ヒューズボックスから電源を取る場合



取り付け車両に合った市販の電源取出コード(平型ヒューズ
タイプ)を使用してヒューズボックスから直接電源を取ります。

- ①ACCオン/オフに連動するヒューズボックス内のヒューズ
(シガーライター、ラジオなど)を探します。
- ②DCコードと電源取出コードを接続します。
- ③ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取出コードをバッ
テリー側に差し込みます。
- ④DCコードのアース端子を車のボディに接続します。

アース端子はボディの金属部に接続してください。

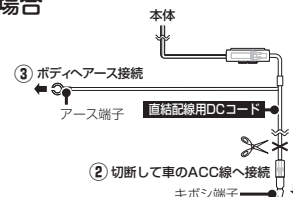
【取り付けに適している場所】

車の電装のアースポイント(コンピューター、リレーなどのアース
コードを直接ボディに接続しているところ)

【取り付けに適さない場所】

- ・ アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めている
ネジ(タッピングネジなど)
- ・ チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作(上下)
する金属部分

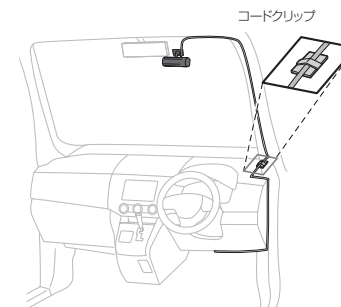
ACC線から直接電源を取る場合



市販のエレクトロタップなどを使用して、車のACC線から直
接電源を取ります。

- ①テスターなどで、車のキーをACCオンにしたときに24V、
オフにしたときに0VになるACC線を探します。
- ②DCコードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロ
タップなどを使用して車のACC線へ接続します。
- ③DCコードのアース端子を車のボディに接続します。

- 5 DCコードは、運転の妨げにならないよう
付属のコードクリップなどを利用して、
配線処理してください。



ドライブ レコーダー

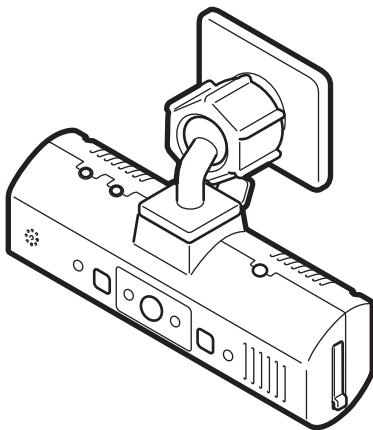
DRIVE RECORDER

CSD-350HD

取扱説明書 本体編

この度は、当社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。



Copyright © 2014 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.
Cellstarは、セルスター工業株式会社の登録商標です。
microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。
microSD Logoは登録商標です。
その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は付属のmicroSDカードに格納しています。ファイルを削除した場合、下記URLよりダウンロードしてください。

<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

もくじ

はじめに

製品の特徴	3
安全上の注意	4
microSDカードについての取り扱い注意事項	6
使用上の注意	7
録画についての注意事項	7
取り付けについての注意事項	7
アイドリングストップ車での使用について	7
専用ビューアソフトについて	7
本体/付属品	8
付属品	8
オプション品	8
各部の名称と機能	9

取り付けと準備

取り付け方法	10
推奨設置位置（参考）	10
取り付け位置（正面）	10
取り付け位置（側面）	11
本機の取り付け	11
配線処理	12
ヒューズが切れた場合	12
マウントベースから本体を取り外す	12
microSDカードの挿入および取り出し	13
microSDカードの挿入	13
microSDカードの取り出し	14

基本操作

製品の使用方法	15
電源のON/OFF	15
エラー表示	15
録画方法	16
録画モードについて	16
クイック録画機能（手動）	17
撮影機能（手動）	17

各種設定

各種設定の変更	18
3Gセンサー感度の設定（工場出荷時：標準）	18
音声録音のON/OFF（工場出荷時：ON）	18
画像モードの設定（工場出荷時：高画質）	18
その他の機能	19
リアルタイムモニター表示	19
再生モード	19
GPS受信の確認	20
操作音のON/OFF（工場出荷時：ON）	20
ボイスアシストのON/OFF（工場出荷時：ON）	20
システムリセット	21
フォーマット	21
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて	22
専用ビューアソフトの動作環境	22

困ったときは

故障かな？と思ったら	23
------------	----

その他

製品の仕様	24
microSDカードのデータについて	25

アフターサービス

アフターサービスについて	26
修理に関して	26
修理受付票	27

製品の特徴

- 録画100万画素（HD）
 - * 200万画素カメラ
- 夜間補正のオン/オフが選べる
- 画像を撮り逃しにくい、SDカードエラー対策機能（ジャーナリングファイルシステム）搭載
- ボイスアシスト機能搭載
- 録画画像の細かな設定が可能（カスタム）
 - * ビューアソフトでの設定が必要。
- 画像モード設定搭載（カスタム、夜間、高画質）
- カメラには耐熱、耐久性に優れたガラスレンズを採用
- 国内自社生産だからできる安心の3年保証
- フロントガラスが寝ている車でも大丈夫（前後入替えて取付け角度の調整が可能）
- 事故の衝撃で電源ケーブルが外れてしまっても、録画画像を正常に保存するまで動作するので、撮り逃しを防ぎます
- 地上デジタルテレビでも電波干渉しない
- 映像録画時に音声も録音可能
- 3Gセンサー搭載
- 録画方式は、常時録画、イベント録画、クイック録画（手動）の3種類
- DC12V/24V車に対応
- 専用ビューアソフト付属（付属のmicroSDカードに格納）
- 撮影機能
- GDO-03/04を使ってカメラ警告対応のセルスター製レーダー探知機と接続できる

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



危険

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。



警告

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。

* 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。



この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。



この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。



危険



● 本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。

* 火災や感電、故障の原因となります。



● 運転中に本機を操作しないでください。

* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。



● 本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。

* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。



● 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。

* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。



● 水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。

* 火災や感電、故障の原因となります。



警告



● 本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。

* 車両のキーがONの状態では取り付けると、感電および故障の原因となります。



● 本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。

* 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。



● 本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。

* 火災などの原因となります。



● 本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。

* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。



● コードを外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。

* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。



● 本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。

* 表面の変質や塗料がはがれることがあり、故障および火災の原因となります。

警告

- ⚠ 本機は、ガラス面に正しく取り付けてください。
 - * ガラス面をきれいに拭いたあと、本機を正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、本機がガラス面から外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。
- ⚠ 電源コードまたはソケット部のほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。
 - * 接続不良による感電および火災の原因となります。

注意

- ⚠ 本機に強い衝撃を与えないでください。
 - * 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- ⚠ 本機の近くに磁気性がある物を置かないでください。
 - * 製品の誤作動および故障の原因となります。
- ⚠ オプションの GPS ユニットの近くには障害になるような物を設置しないでください。
 - * 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ⚠ GPS 機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。(オプションの GPS ユニットが必要)
 - * 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数十分かかる場合があります。
- ⚠ フロントガラスにメタルコーティングされた車両は、GPS 受信障害が発生することがあります。
- ⚠ トンネル入出時のように急激に明るさが変わる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
- ⚠ 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプをつけてください。
- ⚠ フロントガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
 - * ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
- ⚠ 本機は、推奨取付位置に設置してください。
 - * 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。
 - * 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
- ⚠ LED 方式の信号機では画面がちらつく（フリッカー）ことがあり、色の識別ができない場合があります。
- ⚠ 本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱することがあります。直接手で触れないでください。
- ⊘ 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
 - * 故障の原因となり保証を受けることができません。
- ⊘ 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- ⊘ 気温の低いところから高いところに本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。

microSDカードについての取り扱い注意事項



microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して当社は一切の責任を負いません。



付属の microSD カードをフォーマットすると記録ファイルや専用ビューアソフトは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。



microSD カードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。



市販の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、当社は一切の責任を負いません。



microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。



microSD カードを取り出す際は、必ず本体の電源が切れたことを確認してから取り外してください。

※ 本体の電源が入っている状態で microSD カードを取り出すと、データ損失などの原因となります。



一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）

※ microSD カードを長期間使用している、保証期間が切れているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定の microSD カードと交換してください。



microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。

※ ケースに入れずに保管または持ち歩くとき、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。



microSD カードを使用する際には、microSD カードのロックは必ず解除してください。

※ microSD カードがロックされている場合は、記録、録音ができません。



重要なデータは、必ず他のデバイスにバックアップしてください。

※ 外部環境、または長期間使用している間に、データが上書きされ消去される場合があります。



microSD カードに保存されたデータは、バックアップして、定期的にフォーマット（推奨：週 1 回）して使用してください。

※ 外部環境、または長期間使用している間に、データが削除されるおそれがあります。



microSD カードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。

※ 正しく動作しない場合があります。



指定の microSD カード以外は使用しないでください。

※ 指定以外の microSD カードを使用すると、正常に動作しない場合があります。



microSD カードスロットに異物を入れないでください。

※ カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。



油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。

※ microSD カードの損傷、または故障などの原因となります。



データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。

※ microSD カードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。



microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。

※ microSD カードの破損するおそれがあります。



microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。

※ microSD カードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。



microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。

※ microSD カードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。



市販の microSD カードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。



microSD カードを別に購入する場合は、必ず使用可能が確認したうえでご購入ください。

※ 本機は 8GB ～ 32GB までご使用になれます。

※ SDHC 規格に準拠した microSD カードが使用できます。

※ クラス 10（Class 10/SDHC 規格準拠）以上。

使用上の注意

録画についての注意事項

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では画面がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- 走行中に本機を操作したり、LEDランプを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- 夜間モードまたは夜間補正をおこなった場合、映像にノイズが入っているように見えたり、昼間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。

取り付けについての注意事項

- 本機は、本書（P10参照）にしたがって、正しく取り付けてください。
誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 本機は防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- 本機を取り付ける前に、必ずフロントガラス面とマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

アイドリングストップ車での使用について

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

専用ビューアソフトについて

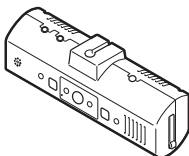
- 専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカードに格納しています。microSDカードをフォーマットするとプログラムが消去されてしまいます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。また、専用ビューアソフトはセルスター工業のWEBサイトからもダウンロードできます。（<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>）

本体/付属品

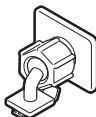
付属品

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

* その他注意書きが同梱している場合がございます。



□ドライブレコーダー本体



□マウントベース



□両面テープ



□DCコード

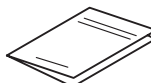


□microSDカード
(専用ビューソフト入り)

* SDカード変換アダプタ、
SDカードケース付属



□コードクリップ × 5

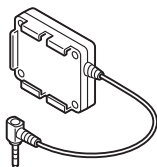


□取扱説明書(本書)

オプション品

別途お買い求めください。

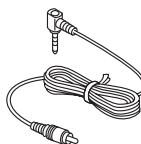
●GDO-01 GPSユニット



録画した映像にGPS 情報
や走行速度などの情報を
付加することができます。

専用のビューソフトで各
種情報を表示できます。

●GDO-02 ビデオ出力コード



録画した映像を外部モニ
ターに出力する場合に使用
します。(P19 参照)

●RO-103 直結配線用DCコード



●GDO-03 (12V専用) 当社製レーダー探知機 接続ケーブル(3.6m)



●GDO-04 (12V専用) 当社製レーダー探知機 接続ケーブル(0.4m)

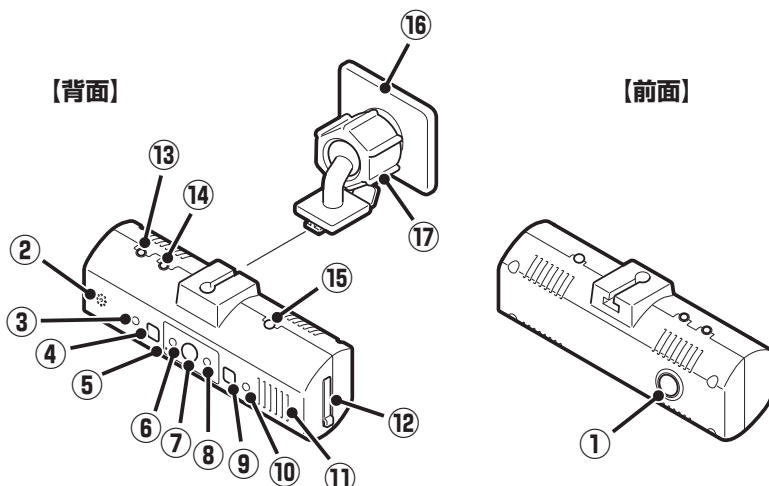


詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.cellstar.co.jp>

カメラ警告対応の当社製レーダー探知機に接続し、これ 1 本で映
像出力や電源入力ができます。(P19 参照)

各部の名称と機能



① 撮影用カメラ (CMOSカメラ 200万画素 視野角:141°)

*出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

② マイク

映像記録中の音声を録音します。

③ 感度ランプ (3色LED)

感度センサーの設定状態を表示します。

④ 感度設定ボタン

機能設定や動作に使用します。

⑤ リセットボタン

本機を再起動します。

⑥ モードランプ (3色LED)

本機やオプションのGPSユニット(GDO-01)の動作状態を表示します。

⑦ クイックボタン

機能設定や動作に使用します。

⑧ 録画状態ランプ (3色LED)

録画 / 再生モードの動作状態を表示します。

⑨ 画像モード設定ボタン

機能設定や動作に使用します。

⑩ 画質ランプ (3色LED)

設定された画像モードを表示します。

⑪ スピーカー

各種警告を音声出力します。(モノラル)

⑫ microSDカードスロット

付属のmicroSDカードを挿入します。

* microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。

⑬ GPS (GPS接続端子)

オプションのGPSユニット(GDO-01)を接続します。

⑭ V-OUT (ビデオ出力端子)

オプションのビデオ出力コード(GDO-02)、または当社製レーダー探知機接続ケーブル(GDO-03/GDO-04)を接続します。

⑮ DCソケット

DCコードを接続し、DC12V/24Vを本機に入力します。

⑯ マウントベース

付属の両面テープでフロントガラスに取り付けます。

* オプションのGPSユニット(GDO-01)を使用する場合、マウントベースに固定します。

⑰ 角度調整ノブ

本機の取り付け角度を調整します。

取り付け方法

⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

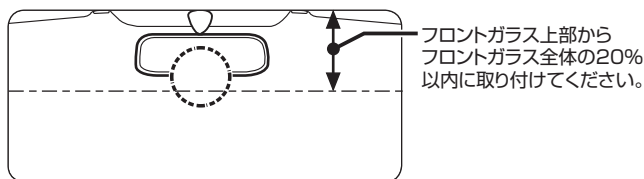
- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のエンジンを止め、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に付属のDCコードまたはオプションのコード以外のコードを使用しないでください。
- カメラを設置した部分のフロントガラスは、いつもきれいに保ってください。
- 本機の精度に影響が出ないようにオプションのGPSユニット付近にはETC、カーナビゲーションなど他の製品と離して取り付けてください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。

⚠ 警告

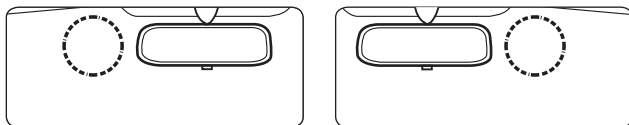
事故発生時の衝撃により本機が外れる場合がございます。フロントガラス面とマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

推奨設置位置（参考）

取り付け位置（正面）



ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適の録画映像を得ることができます。

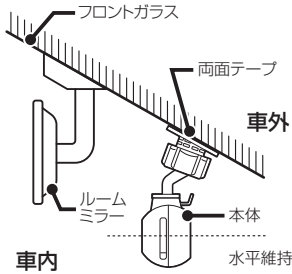


フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角(141°)を活用してルームミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。

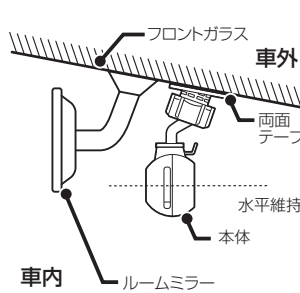
中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

取り付け位置（側面）

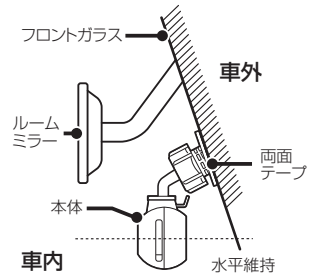
■ 一般的な乗用車



■ フロントガラスが寝ている車



■ ワンボックスやトラックなど



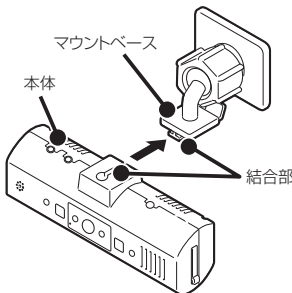
- 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- 本機が取り付けられた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

フロントガラスが寝ている車両はマウントベースを180度回転させ、前後を逆にすることで水平な撮影アングルが作れます。



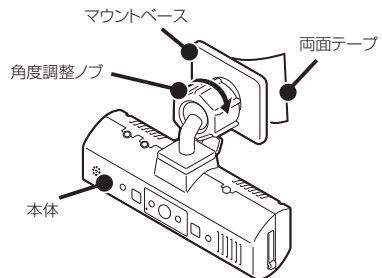
本機の実取り付け

- 1 マウントベースと本体の結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。



- 3 角度調整ノブを右側に回して本体を固定する。

角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。



- 2 両面テープを使用して本機を設置する場所に取り付ける。

* 推奨設置位置を参照して、取り付けてください。

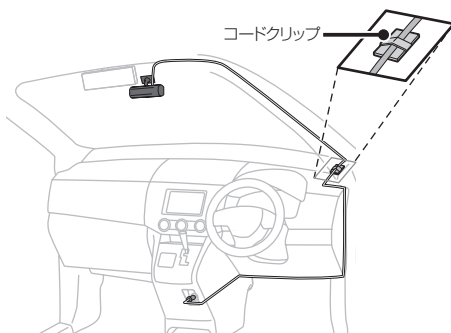
* 必要に応じて、先にマウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

配線処理

DCコードのプラグを車両のシガーライターソケットに接続してください。

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。

余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。

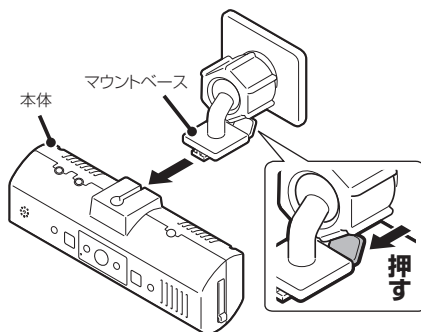


⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分に注意ください。

マウントベースから本体を取り外す

マウントベースのツメ部を押し、本体を矢印の方向に引き外します。



ヒューズが切れた場合

ヒューズ（1A）を交換します。



microSDカードの挿入および取り出し



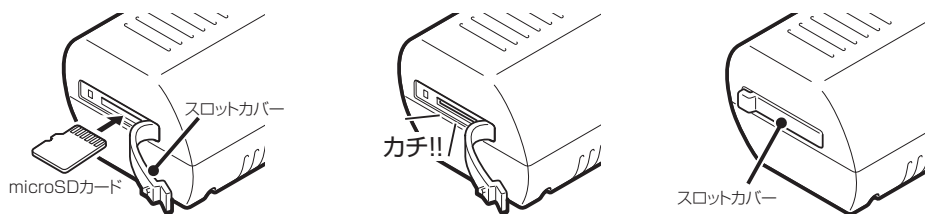
注意

microSD カードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- microSDカードは、付属のmicroSDカードをご使用ください。
指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- microSDカードを本体電源が入った状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- SDカードエラー対策機能でも記録ファイルが復旧できない可能性があります。復旧できない場合、データは削除されます。
- microSDカードを取り出すときは、車のエンジンを止めて、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。その後microSDカードを取り出してください。
動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- 付属のmicroSDカードをフォーマットすると記録ファイルや専用ビューアソフトは全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 市販のmicroSDカードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。

microSDカードの挿入

* 必ず、本体の電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに差し込む。
- 2 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。
- 3 スロットカバーを閉じる。



注意

- microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

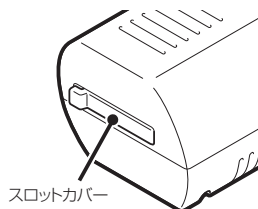
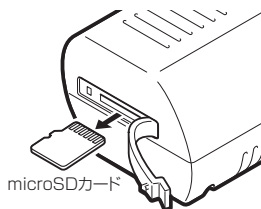
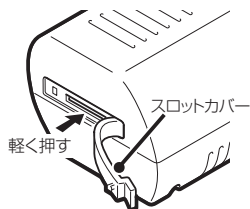
困ったときは

その他

アフター
サービス

microSDカードの取り出し

* 必ず、本体の電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。
- 2 microSDカードを取り出す。
- 3 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。

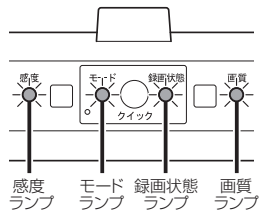
製品の使用手法

⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音となり、記録の映像の一部が削除される場合があります。

電源のON/OFF



■ 電源のON

本機には電源ボタンがありません。電源を入れるには、DCコードが車両に繋がれている状態で車のエンジンをかけます。

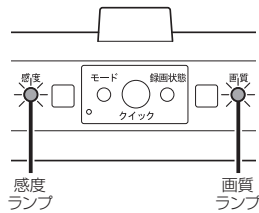
全てのLEDが点灯し、数秒後効果音とボイスアシストでお知らせし、常時録画を開始します。

* 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。

■ 電源のOFF

エンジンを停止させると最後の録画ファイルを安全に保存し、効果音のあと電源が自動的にOFFになります。

エラー表示



microSDカードが挿入されていない、もしくはカメラの初期化エラーなどが発生した場合は、次のようなLEDランプの状態とボイスアシストでお知らせします。

	感度ランプ	モードランプ	録画状態ランプ	画質ランプ	ボイスアシスト
microSDカードの異常	赤色点滅	消灯	消灯	赤色点滅	あり
カメラの異常	黄色点滅	消灯	消灯	黄色点滅	なし

* microSDカードの異常エラーを表示した場合は、電源を切ってからmicroSDカードを挿入後、再度電源を入れてください。(P13、P14参照)

* カメラの異常エラーを表示した場合は、本書裏表紙記載のお客様相談窓口までお問い合わせください。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

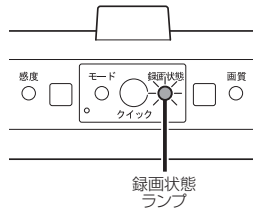
その他

アフターサービス

録画方法

録画モードについて

本機が動作すると同時に常時録画が開始されます。



●録画モードの状態を録画状態ランプとボイスアシストでお知らせします。

録画モード	録画状態ランプ
常時録画	緑色の点滅
イベント録画	緑色の早い点滅
クイック録画	黄色の早い点滅

* 常時録画、イベント録画は、音声録音がOFFのとき赤色で点滅します。

常時録画モードとイベント録画モード

■ 常時録画モード

録画モードおよび時間

イベントに関わらず1分単位で続けて録画します。



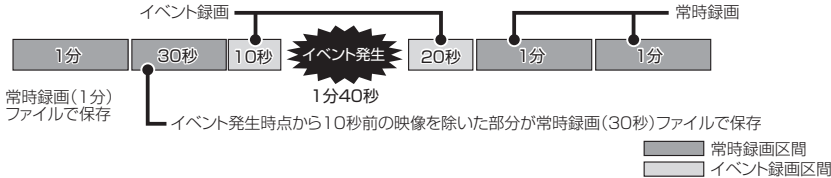
■ イベント録画モード

例) 録画を始めたあと、1分40秒にイベントが発生した場合

常時録画とイベント録画を同時におこないます。常時録画中にイベントが発生した場合、

常時録画を中断して効果音と一緒にイベント録画がおこなわれます。

イベント録画完了後、再び常時録画に戻ります。



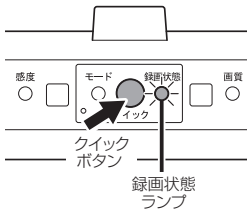
- * イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。「3Gセンサー感度の設定(P18参照)」で調整することができます。
- * 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。
- * 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- * 常時録画 (microSDカード総容量の70%)、イベント録画 (microSDカード総容量の25%) で分割管理されています。
- * 録画モードでイベント録画 (手動による撮影も含む) をおこなっている最中は、ボタン操作を受け付けません。ボタン操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。

例) microSDカードの保存先について

録画ファイル	保存フォルダ名	最大保存容量
常時録画ファイル	INFINITE	microSD カード総容量の 70% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
イベント録画ファイル	EVENT	microSD カード総容量の 25% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)

クイック録画機能（手動）

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。



- 1 本機の動作中に**クイックボタン**を押す。（1秒以内）
効果音が鳴り、手動にてイベント録画することができます。

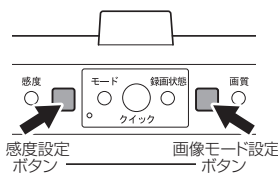
- 録画モードの状態を録画状態ランプとボイスアシストでお知らせします。

録画モード	録画状態ランプの状態
クイック録画	黄色の早い点滅

- * 録画映像は、ボタンを押した10秒前と20秒後を含み記録します。
- * この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。

撮影機能（手動）

録画映像を手動で撮影するための機能です。撮影した画像（JPGファイル）はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。（撮影した画像の保存容量は100MBまでになります。）



- 1 本機の動作中に**感度設定ボタン**と**画像モード設定ボタン**を同時に長押しする。（3秒以上）

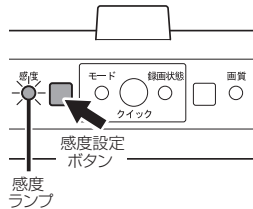
効果音が鳴り、手動にて映像を撮影することができます。

- * この機能は、本機がイベント録画中でも使用できます。

各種設定の変更

3Gセンサー感度の設定（工場出荷時：標準）

本機の作動中に**感度設定ボタン**を押す（1秒以内）ことにより、設定が切り替わります。



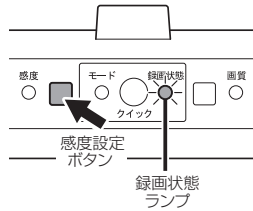
●3Gセンサー感度の設定状態を感度ランプとボイスアシストでお知らせします。

感度	感度ランプの状態
高感度（設定値 7）	緑色点灯
標準（設定値 5）	黄色点灯
低感度（設定値 2）	赤色点灯

* 3Gセンサー感度の設定値は0～9まであります。細かく調整するには専用ビューアによる設定が必要です。（専用ビューア説明書参照）

音声録音のON/OFF（工場出荷時：ON）

本機の作動中に**感度設定ボタン**を長押しする（3秒以上）ことにより、音声録音のON/OFFが切り替わります。



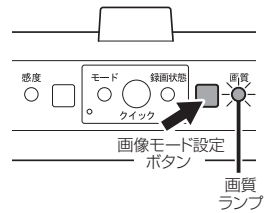
●音声録音のON/OFFを録画状態ランプとボイスアシストでお知らせします。

音声録音	録画状態ランプの状態
ON	緑色点滅
OFF	赤色点滅

* 録画状態ランプの点滅スピードは録画時のモードにより変化します。（P16参照）

画像モードの設定（工場出荷時：高画質）

本機の作動中に**画像モード設定ボタン**を押す（1秒以内）ことにより、画像モードの設定が切り替わります。



●画像モードの状態を画質ランプとボイスアシストでお知らせします。

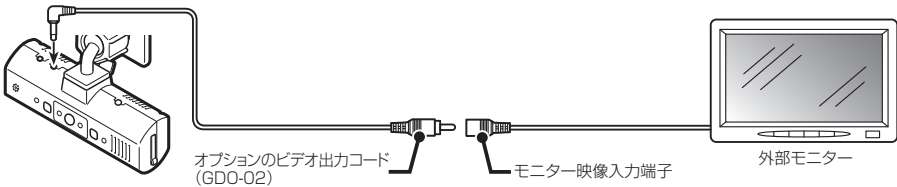
画像モード	画質ランプの状態	設定内容
高画質	緑色点灯	画像モードを高画質の設定にします。
夜間	黄色点灯	画像モードを夜間に適した設定にします。
カスタム	赤色点灯	専用ビューアで設定したお好みの画像モードにします。（専用ビューア説明書参照）

その他の機能

リアルタイムモニター表示

オプションのビデオ出力コード（GDO-02）や当社製レーダー探知機接続ケーブル（GDO-03/GDO-04）を外部モニター、または当社製レーダー探知機に接続すると現在録画されている映像をリアルタイムで表示できます。（映像のみ、音声は出力されません）

●外部モニターとの接続方法



- * 必ずオプションのビデオ出力コード（GDO-02）、または当社製レーダー探知機接続ケーブル（GDO-03/GDO-04）をご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。
- * モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。
- * 電源ON時、一瞬画面が乱れることがありますが、異常動作ではありません。

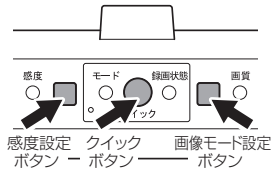
再生モード



注意

- ・再生するには、オプションのビデオ出力コード（GDO-02）や当社製レーダー探知機接続ケーブル（GDO-03/GDO-04）を使用して外部モニター、または当社製レーダー探知機に接続する必要があります。
- ・再生モード中は、録画できません。

本機の作動中に**クイックボタン**を長押しする(3秒以上)ことにより、録画/再生モードが切り替わります。
本機の操作ボタンを使用して、以下の操作で記録映像を再生できます。



ボタン		動 作	
		フォルダ / ファイルリスト	再生中
感度設定ボタン	短押し	フォルダ選択 / 前のファイルリスト選択	10 秒前の映像に進む
	長押し	ルートフォルダに戻る	—
クイックボタン	短押し	フォルダ選択 / ファイル再生	再生停止 (リストに戻る)
	長押し	録画 / 再生モード切り替え (再起動)	—
画像モード設定ボタン	短押し	フォルダ選択 / 次のファイルリスト選択	10 秒後の映像に戻る
	長押し	ルートフォルダに戻る	—

* 短押しは1秒以内、長押しは3秒以上押します。

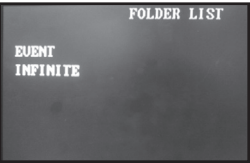
初期画面は左のように表示されます。

EVENT : イベント録画フォルダ

INFINITE : 常時録画フォルダ

* ファイルは、記録された時間の順に表示されます。

* 初期画面からクイックボタンでフォルダ選択すると、最後に記録されたファイルが選択されます。



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

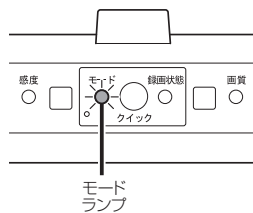
困ったときは

その他

サブタイ
スー

GPS受信の確認

本機にオプションのGPSユニット（GDO-01）を接続すると、GPS信号を受信することができます。

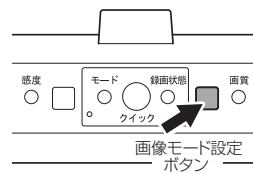


●GPS信号の受信状態をモードランプとボイスアシストでお知らせします。

状態	モードランプの状態
GPS 未測位または未接続	赤色点灯
GPS 測位	緑色点灯

操作音のON/OFF（工場出荷時：ON）

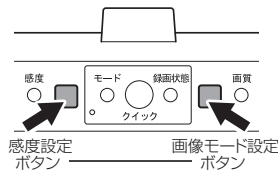
本機の作動中に**画像モード設定ボタン**を長押しする（3秒以上）ことにより、操作音のON/OFFが切り替わります。



- 1 **画像モード設定ボタン**を長押しする。（3秒以上）
操作音のON/OFFが切り替わります。

ボイスアシストのON/OFF（工場出荷時：ON）

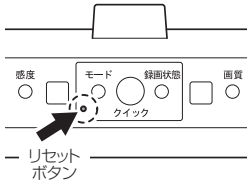
本機の作動中に**感度設定ボタン**と**画像モード設定ボタン**を同時に押す（1秒以内）ことにより、ボイスアシストのON/OFFが切り替わります。



- 1 **感度設定ボタン**と**画像モード設定ボタン**を同時に短押しする。
ボイスアシストのON/OFFが切り替わります。

システムリセット

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットをおこなってください。

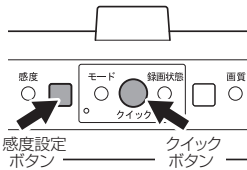


- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
本機がリセットされます。

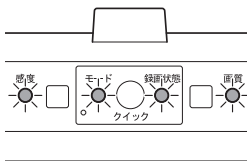
フォーマット

⚠ 注意

- ・この機能を使用すると、録画したデータはすべて消去されます。必要に応じて記録データのバックアップをおこなってください。
- ・microSDカード内の録画したデータが破損した際、製品本体で異常状態を確認できない場合があります。定期的（1週間に1回を推奨）にmicroSDカードをフォーマットしてください。



- 1 感度設定ボタンとクイックボタンを同時に長押しする。
(10秒以上)



- 2 ボイスアシストでお知らせし、フォーマットが開始されます。
フォーマットが完了すると、自動的に常時録画モードになります。

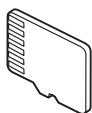
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像やルートなどの記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトの動作環境

- CPU： Pentium 4 以上
- OS： Windows Vista / 7 / 8 以上
- メモリ： 1GB 以上
- HDD： 4GB 以上
- GPU： Direct X 9.0c 以上に対応するGPU

専用ビューアソフトと専用ビューアソフトの説明書は、付属のmicroSDカードに格納しています。



付属の microSD カード

[viewer]

[setup.exe]

[専用ビューア説明書.pdf]

専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。

「setup.exe」を起動すると専用ビューアソフトのインストーラーが起動します。

専用ビューア説明書の手順にしたがってインストールしてください。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページの製品ページからもダウンロードできます。

<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	・ DCコードは、シガーライターソケットに接続されていますか。 ・ 本機のDCジャックとDCコードは接続されていますか。 ・ シガーライター用DCコードのヒューズが切れていませんか。	P9、P12
	・ シガーライターソケットにタバコくすが付着していませんか。付着している場合は、タバコくすなどをきれいに拭きとってください。	—
	・ microSDカードは正しく挿入されていますか。 ＊ microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。	P13
起動時間が長い	・ microSDカードの容量によっては起動時間が長くなることがあります。	P6
録画が開始されない	・ microSDカードは正しく挿入されていますか。 ＊ microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取り換えてご使用ください。その際は指定のmicroSD カードをご使用ください。	P6 P13-P14
	・ microSDカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。 ＊ microSD カードをフォーマットしてください。	P21
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。または直ぐに反応してしまう	・ 「3Gセンサー感度」を調整してください。 ＊使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。	P18
ひんばんに録画されるまたは録画されない	・ 「3Gセンサー感度」を調整してください。 ＊使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。	P18
映像にノイズが入って録画される	・ 夜間モードまたは夜間補正をおこなっていませんか。明るさの感度が高くなり、ノイズが入っているように録画されることがあります。	P18
昼間の映像が白っぽく録画される	・ 夜間モードまたは夜間補正をおこなっていませんか。明るさの感度が高くなり、白っぽく録画されることがあります。	P18
再起動する	・ 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。	—

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

製品の仕様

■CSD-350HDの仕様

車外撮影用カメラ		撮像素子	200 万画素 CMOS カメラ
		フレームレート	30fps
		視野角	141°
		最低被写体照度	1.0LUX 以下
録画画質	HD (100 万画素)	高画質 (7Mbps) / 標準 (5Mbps) / 低画質 (3Mbps)	
	VGA (30 万画素)	高画質 (2.5Mbps) / 標準 (2Mbps) / 低画質 (1.5Mbps)	
録画圧縮		AVI	
録画トリガ		常時録画 / イベント録画 / クイック録画	
3G センサー		衝撃感度	10 段階
対応外部記憶媒体		microSD カード 8GB ~ 32GB (クラス 10/SDHC 規格準拠)	
記録データ		日時、加速度、走行速度*、位置情報*、映像ファイル *オプションの GPS ユニット (GDO-01) が必要	
音声録音		有り	
外部映像出力		有り	
インターネット地図連動		有り	
電源電圧		DC12V/24V	
動作温度範囲		-10℃ ~ +60℃	
サイズ		105 (W) × 27.5 (D) × 35 (H) mm ※突起部含まず	
本体重量		55g	

■撮影可能時間の目安

常時録画 / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	HD	約 105 分	約 145 分	約 245 分
	VGA	約 295 分	約 370 分	約 495 分
16GB	HD	約 210 分	約 295 分	約 495 分
	VGA	約 595 分	約 745 分	約 995 分
32GB	HD	約 425 分	約 595 分	約 995 分
	VGA	約 1190 分	約 1490 分	約 1990 分

イベント録画 / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	HD	約 35 分	約 50 分	約 85 分
	VGA	約 105 分	約 130 分	約 175 分
16GB	HD	約 75 分	約 105 分	約 175 分
	VGA	約 210 分	約 265 分	約 355 分
32GB	HD	約 150 分	約 210 分	約 355 分
	VGA	約 425 分	約 530 分	約 710 分

撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

microSDカードのデータについて

■データ保存について

- イベント録画フォルダ (EVENT)
イベント発生時に30秒間の動画および音声、クイック録画機能で録画した動画を保存します。
(microSDカード全体容量の25%を使用)
- 常時録画フォルダ (INFINITE)
常時録画された1分間の動画および音声を保存します。(microSDカード全体容量の70%を使用)
- 撮影フォルダ (CAPTURE)
キャプチャーした画像を保存します。(100MB固定)

■その他のファイルについて

- _system_ini.cfg
PC Viewerの環境設定を_system_ini.cfgファイル形式でmicroSDカードに保存し、本機は初期起動時にこの設定情報を読み込み適用します。
_system_ini.cfgファイルがない場合は、基本設定を適用します。
- _time_ini.cfg
任意時間 (RTC) を保存します。

■ジャーナリングファイルシステムについて

本機にはSDカードエラー対策機能としてジャーナリングファイルシステム (Journaling File System) を搭載しております。ジャーナリングファイルシステムとは、ディスクに障害が発生したときにすぐ復旧できるように、ファイル更新履歴のバックアップをとっておく機能を持ったファイルシステムのことです。データを書き込む際に記録をとっておくため、システムのクラッシュや異常動作によってファイルが壊れた際にはその記録を基に修復するため、ファイルシステムの修復率*も高く、また修復にかかる時間も短縮されます。

* ジャーナリングファイルシステムでもファイルシステムを修復できない場合があります。定期的 (1週間に1回を推奨) に microSDカードをフォーマットしてください。

アフターサービスについて

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- 取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- 修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票（P27参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票（P27参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

修理受付票は、以下の方法でも入手できます。

郵送をご希望のお客様

カスタマーサービスまでお問い合わせください。
フリーダイヤル：0120-75-6867
（携帯電話・PHSからは、046-275-6867）

FAX でご希望のお客様

FAXサービスまでお問い合わせください。
FAX：046-275-1171（音声ガイダンス）データ番号051で24時間FAXにてお取り出しできます。

ダウンロードをご希望のお客様

インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。

（修理受付票PDF ダウンロード：48KB）

http://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

- 故障かな？と思ったら（P23参照）を参考に故障かどうかをご確認ください。
- 弊社ホームページ「お客様サポート」－「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。

3 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

http://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票（P27参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付してください。
- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。

■ 修理の流れ

1 ご不明な点は、弊社カスタマーサービスにご連絡ください。



0120-75-6867（無料）

〔受付時間〕 9：00～17：30

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合：046-275-6867

- * 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

2 修理品の送付先 セルスター工業 アフターサービス

〒518-1145

三重県伊賀市安場字東赤坂 1608-5

TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いません。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼は受けいたしませんので、ご返却させていただきます）

個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報のは次の目的のみ利用されます。

- ① 当社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

修理受付票

製品名：CSD-350HD

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：		ご住所：□□□□-□□□□□□	
ご自宅電話番号：			
FAX番号：			
日中で連絡可能な電話番号： ☐ 携帯電話 ☐ ご勤務先 ☐ その他（ ）			
ご購入日：		お見積り連絡： ☐ 不要 / ☐ 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡 ※不要を選択の場合、お見積りの連絡はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。	
同梱した付属品：合計（ ）点		具体的な症状： ☐ 常に発生する ☐ 時々発生する ☐ 特定の条件で発生する できるだけ詳しくご記入ください。	
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧			
修理品返却先 ※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。			
お客様名：		ご住所：	
ご自宅電話番号：			

アフターサービスについて

アフターサービス

その他

困ったときは

各種設定

基本操作

取り付けと準備

はじめに

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ
お受け取りになり、保証内容を良くお読みのと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票（P27参照）も併せてご記入ください。

製品名：CSD-350HD	お買い上げ年月日： 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。 ご住所： お電話：	保証期間 3年 お買い上げ 年月日から 3年間有効 

以下の場合には保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱いによって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛かり・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外観上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご使用になった場合
- ⑧バッテリー・ディスプレイ・microSDカードなど消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附随的損害の補償については一切この責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので大切に保存ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願い 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ



0120-75-6867 (無料)

【受付時間】 9:00～17:30

(土・日・祝日および、弊社休業日を除く)

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合：046-275-6867

■メールでのお問い合わせ

お問い合わせフォームより質問を送信してください。

<https://www.cellstar.co.jp/inquiry/mail.html>

※ご返答までに1週間程度のお時間をいただく場合があります。

■セルスター工業株式会社 カスタマーサービス

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32

各拠点一覧

- 北海道地区 北海道セルスター工業株式会社
〒004-0843 札幌市清田区清田三条 1-3-1
TEL.011-882-1225 (代) / FAX.011-881-7251
- 東北地区 セルスター工業 (株) 仙台営業所
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田 158
TEL.022-218-1100 (代) / FAX.022-218-1110
- 関東地区 セルスター工業 (株) 本社
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野 7-17-32
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106
- セルスター工業 (株) 水戸営業所
〒310-0903 茨城県水戸市堀町795-2
TEL.029-254-6911 (代) / FAX.029-255-1420

- 東海・北陸地区 セルスター工業 (株) 名古屋営業所
〒464-0025 愛知県名古屋市中千種区桜が丘295番地
第8オオタビル 4F
TEL.052-789-0099 (代) / FAX.052-789-1510
- 関西・中国・四国地区 セルスター工業 (株) 大阪営業所
〒562-0004 大阪府箕面市牧落 3-8-7
TEL.072-722-1880 (代) / FAX.072-722-5575
- 九州地区 セルスター工業 (株) 福岡営業所
〒811-1314 福岡県福岡市南区の場二丁目15番 16号
TEL.092-588-1101 (代) / FAX.092-588-0057

名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

全国自動車用品工業会会員 <http://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR® セルスター工業株式会社